

危機管理 マニュアル (学生用)

2018年4月1日 第3版

ものつくり大学 危機管理委員会

目次

1	危機管理マニュアルの目的	P. 2
2	危機管理についての基本方針	P. 2
3	危機管理マニュアルで対象とする危機の範囲	P. 2
4	連絡体制	P. 3
5	避難場所	P. 4
6	地震発生時対応マニュアル	P. 5
7	安否確認システムの使い方	P. 8
8	初期消火活動の留意事項	P. 18
9	感染症発生時対応手順	P. 21
10	教育研究における海外渡航時対応手順	P. 23

1 危機管理マニュアルの目的

- ・危機発生を未然に防止し、危機発生時の被害を最小限にする。

2 危機管理についての基本方針

- ・危機発生の予防策及び発生時の被害低減策の構築を危機管理上、最重視する。
- ・危機発生時は、人命を最優先とする対策を危機管理委員会委員長の指揮の下、迅速かつ組織的に実施する。
- ・危機管理について評価し、内容を見直す活動を恒常的に実施する。

3 危機管理マニュアルで対象とする危機の範囲

想定リスク (大分類)	想定リスク (小分類)
自然災害、火災等の大規模な事故災害	① 地震、台風、つつまき、暴風雨、水害等による自然災害 ② テロや大規模な交通災害等学生や教職員が多数巻き込まれるような危機 ③ 火災、爆発、ガス中毒等の大規模な事故 ④ 伝染病の蔓延等による医療災害
学生に係わる事故等	① 学内の各種の授業妨害危機 ② 学内での暴力、盗難等の犯罪 ③ 学内での交通事故 ④ 学生の病気 ⑤ 学生食堂における食中毒 ⑥ ドーミトリにおける各種の事故 ⑦ 学外における各種の事故等
外部から大学への攻撃的行為	① 外部団体（イデオロギー団体等）からの訴訟、クレーム ② 外部の第三者からの個人的な訴訟・クレーム ③ 保護者、卒業生からの訴訟、クレーム ④ コンピュータウイルス等の情報ネットワーク災害
教育にかかわる事故等	① インターンシップ研修先における事故 ② 学生の課外活動に伴う学外における事故 ③ 実習等に伴う事故や怪我 ④ 教職員の学会活動における事故等の災害危機（海外を含む）
その他	① 電車や自動車等の事故などの交通災害 ② 学内や通勤通学途上等において学生や教職員が受ける暴行等

4 連絡体制

(1) 災害・事故発生時の連絡先

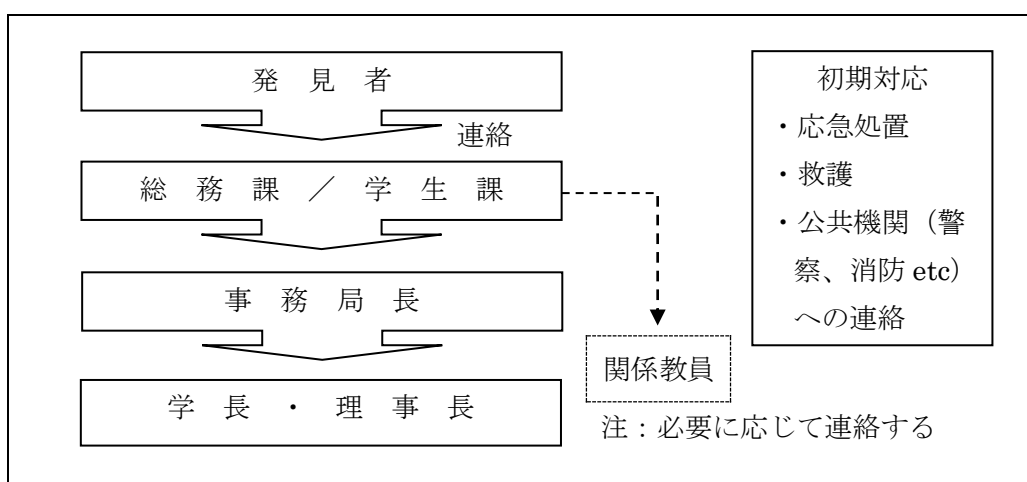
地震、風水害、都市災害（大火災、ガス爆発）、火災、休業中の負傷等が発生した場合は下記に連絡する。

ものつくり大学 TEL : **048-564-3200**

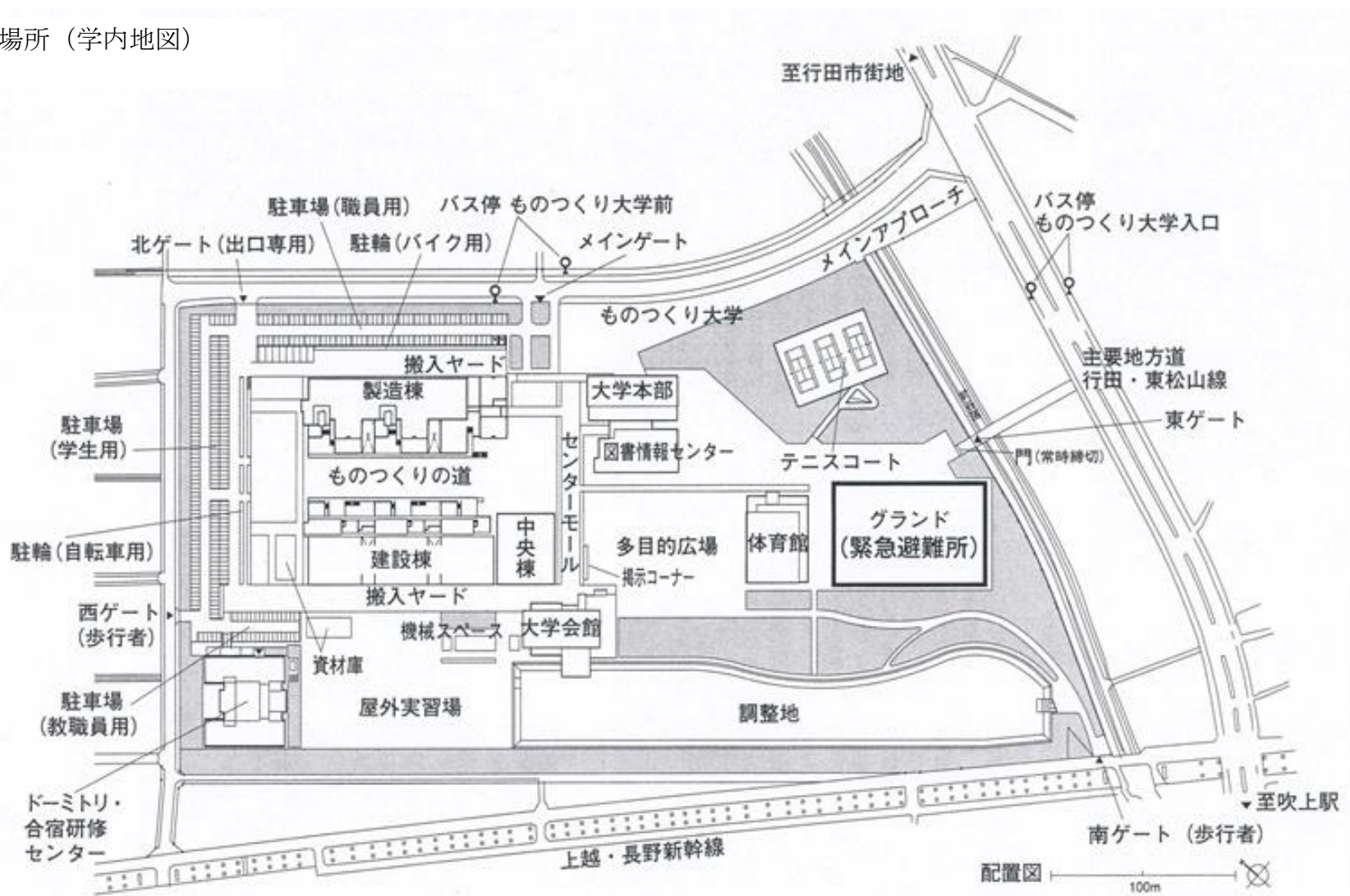
E-mail : **info@iot.ac.jp**

(2) 学内への連絡

発見者からの連絡を受け、担当課長から学内への連絡を行う。



5 避難場所（学内地図）



※ 各棟の避難経路については、安全手帳及び学生便覧を参照。

6 地震発生時対応マニュアル

【初期対応】

1. まずは「自らの身を守る！」
机の下など安全な場所へ身を隠す。
2. 次に「火元の始末！」
ガスの元栓、コンセント、実習器具を確認する。
3. 続いて「脱出口の確保！」
ドアを開ける。
4. 自らの安全を確保したら、「周りにいる人の救助！」
書庫等の下敷きになっている人がいれば、皆で救助する。
5. 最後に「安全な場所へ避難！」
余震による建物の倒壊に注意する。負傷者がいれば、皆で助け合い、共に避難する。

【震災時行動基準】

関東地方で震度6弱以上の地震が発生した場合は、原則として次の基準に従って行動する。
(震度6弱に満たない地震であっても、被害が大きいと大学が判断する場合は同様とする。)

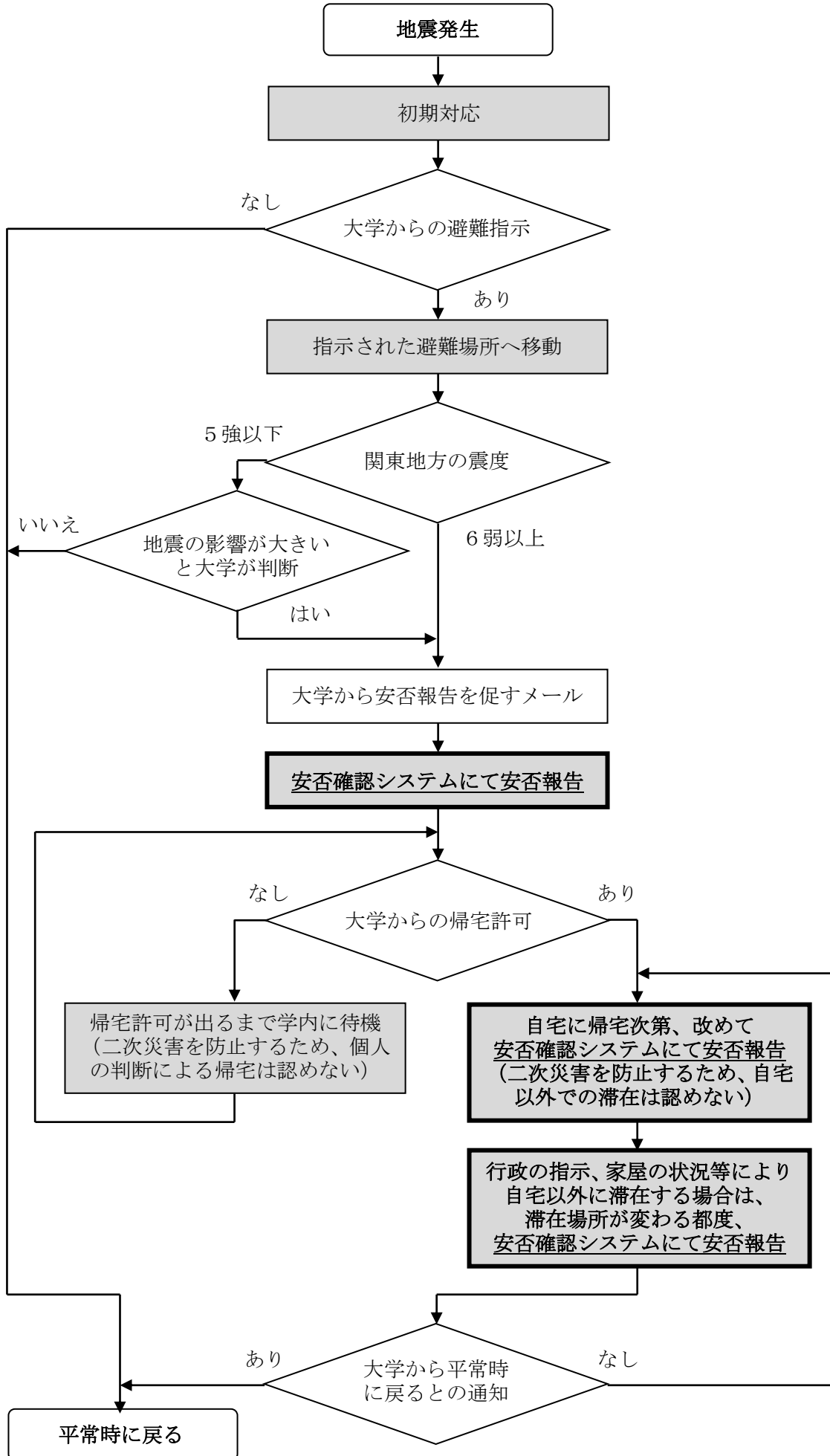
1. 自ら及び家族の生命を守り、安全を確保することを最優先する。
2. 安全を確保した後、速やかに安否確認システムにて自らの安否を報告する。
3. 学内で【教職員：就業時間中に】被災した場合は、大学の指示に従って行動する。
4. 学外で【教職員：就業時間外に】被災した場合は、大学の指示があるまで原則として自宅待機とする。ただし、災害対策本部のメンバーは、大学にて災害対策本部の活動に従事する。
5. 外出先から自宅に帰宅次第、改めて安否確認システムにて自らの安否を報告する。自宅以外（実家、避難所等）に滞在する場合は、滞り場所が変わる都度、安否確認システムにて自らの安否を報告する。

※ 詳しくは、別紙「震災時対応手順」を確認のこと。

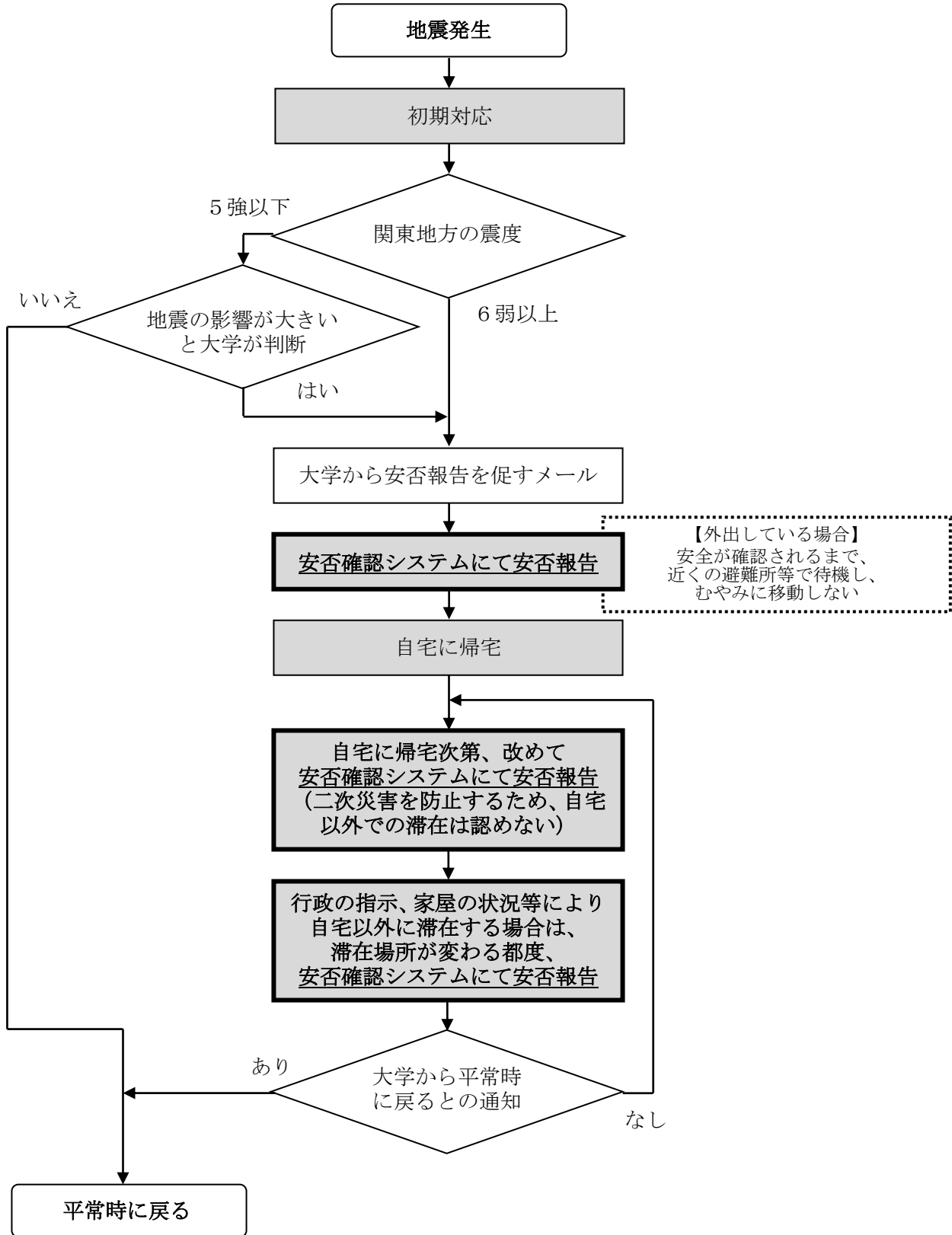
【平常時の準備】

1. 自宅及び大学における避難場所を確認する。
大学における避難場所はグラウンド。
2. 安否確認システムの使用方法を理解する。
操作マニュアルに基づき、実際に操作してみることが重要。
3. 大学作成の携帯カードを常時携帯する。
震災時行動基準、安否報告要領、大学住所・電話番号が記載され、緊急時に役立つ。
4. 家族との安否確認方法を決めておく。
有効な方法であれば何でも良い。安否確認システムの家族サービスも利用できる。

震災時対応手順【学生用】(学内で被災の場合)



震災時対応手順【学生用】(学外で被災の場合)



7 安否確認システムの使い方

(1) 安否確認システムへの個人情報等の登録について

①迷惑メール拒否設定へのドメイン許可をしてください。

携帯電話で迷惑メール対策として、指定受信などの設定をしている場合は、下記アドレスもしくは、下記ドメインからのメールを受信できる様に設定をしてください。

• **anpi@mob-connect.com**

• **mob-connect.com**

②サイトにログインします。

パソコン・携帯電話から、以下の URL を入力します。

安否確認システム URL : <http://www.mc-anpi.com/>

【企業コード】 62983

【ログインID】 学生：学籍番号／教職員：教職員番号

【家族コード】 入力不要

【パスワード】 学生：生年月日（西暦から入力）／教職員：教職員番号

ログイン画面

ログイン

※ 企業コード、ログインID、パスワードを入力して下さい。
※ 家族の方は、家族コードを入力して下さい。

企業コード: 62983

ログインID:

家族コード:

パスワード:

ログイン

【スマートフォンをご利用の方はこちら】

③ログイン画面で、ログインID とパスワードを入力して、ログインすると個人メニューが表示されます。個人情報メンテナンスをクリックしてください。

メニュー画面

個人メニュー

【▼災害情報はこちら】

- 安否情報登録
- 一斉通報情報登録
- 家族状況確認
- 家族情報メンテナンス
- 個人情報メンテナンス

④この画面上で、各項目を登録します。連絡先 (MAIL) の項目に、携帯電話や自宅のパソコンのメールアドレスを登録し、住所等の記載情報に間違いがないか確認してください。

- ア 『住所 1』欄が現住所と間違いがないか確認してください。
- イ 『連絡先 (MAIL)』欄にメールアドレスを入力してください。
- ウ 必要に応じてパスワードを変更してください。
- エ 『登録』をクリックしてください。

※登録した住所や連絡先等は、個人情報保護の観点から大学が閲覧することはできません。


安否確認/一斉通報サービス

MENU
ログアウト

個人情報メンテナンス

「*」のついている項目は必須項目ですので、必ず入力して下さい。

氏名コード	dummy		
1st組織名	dummy		
2nd組織名	dummy		
3rd組織名	dummy		
4th組織名	dummy		
5th組織名	dummy		
カナ氏名	ショキ カンリシャ		
氏名	初期 管理者		
ユーザ設定コード	dummy		
勤務先住所 * (半角文字、全角文字)	千葉県	(都道府県) 千代田区一ツ橋	(市区町村)
* 都道府県、市区町村のみ必須	1		(番地)
ロケーション *	dummy		

住所1 * (半角文字、全角文字)	千葉県	(都道府県) 千代田区一ツ橋	(市区町村)
* 都道府県、市区町村のみ必須	1		(番地・マンション名)

連絡先(MAIL)	<input type="text"/>	優先順(1)	確認メール発信
	<input type="text"/>	優先順(2)	確認メール発信
	<input type="text"/>	優先順(3)	確認メール発信

※通信状況等によっては、発信の順番が前後する場合があります。
※「確認メール発信」ボタンを押下すると、入力されたメールアドレス宛に確認メールを発信します。

住所2 (半角文字、全角文字)	-----	(都道府県)		(市区町村)
				(番地・マンション名)
予備連絡先(TEL) (半角数字)	<input type="text"/>	入力例: 0312345678		
予備連絡先(MAIL)	<input type="text"/>			

【パスワード変更欄】
パスワードを変更する場合は、新しいパスワードを以下に入力して下さい。

[新] Web認証用パスワード (半角英数字)	<input type="text"/>	
	<input type="text"/>	(確認用)

エ

登録

戻る

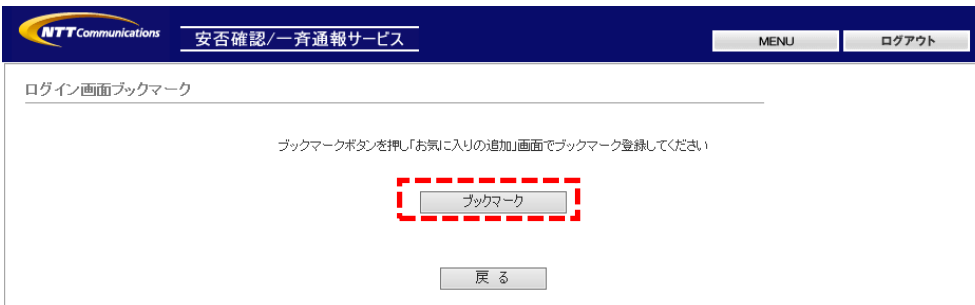
(2) ログイン画面ブックマークについて

ログイン画面ブックマークを行うことによって、次回ログイン時に企業コード・ログイン ID の入力が必要になります。

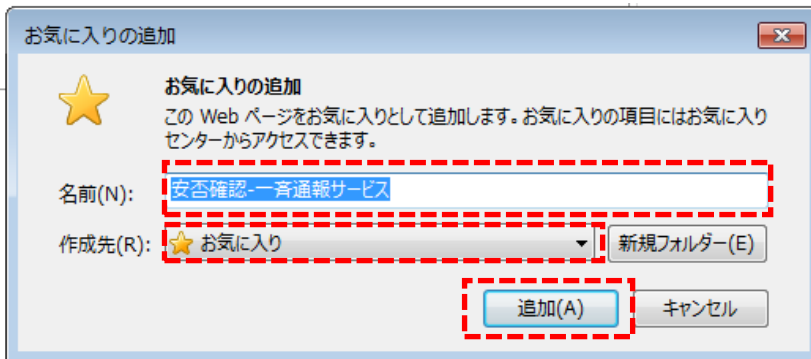
①個人メニュー画面より、『ログイン画面ブックマーク』をクリックします。



②『ブックマーク』をクリックします。



③ブックマークする名前、ブックマーク先を記入・選択し、『追加』をクリックします。



以上でサイトのブックマーク登録は完了です。次回からのログインはブラウザのお気に入りからアクセスできるようになります。

(3) 安否情報の登録について

【安否確認実施基準】

関東地方で震度 6 弱以上の地震が発生した場合

(震度 6 弱に満たない地震であっても、被害が大きいと大学が判断する場合は同様)

①安否確認メールが送信されます。(ampi@mob-connect.com よりメールが届きます。)

※携帯電話で迷惑メール対策として、指定受信などの設定をしている場合は、下記アドレスもしくは、下記ドメインからのメールを受信できるようにしてください。

- ampi@mob-connect.com
- mob-connect.com

②受信した安否確認メールに記載されたアドレスにアクセスしてください。

下記のアドレスへアクセスし、登録を行ってください。

<http://www.mc-ampi.com/index.cgi?S=bfe42557bc20d0678e61439f6eb8f8d5199ade62f4b099f2961fac376dfca1c9&SC=f2a61ad0b514976f>

【スマートフォンをご利用の方はこちら】

<http://www.mc-ampi.com/index.cgi?SP=1&S=bfe42557bc20d0678e61439f6eb8f8d5199ade62f4b099f2961fac376dfca1c9&SC=f2a61ad0b514976f>

— 安否確認/一斉通報サービス —

③質問項目を回答し、『登録』をクリックしてください。

NTT Communications 安否確認/一斉通報サービス MENU ログアウト

安否情報登録

「*」のついている項目は必須項目ですので、必ず入力して下さい。

氏名	初期 管理者
本人の安否 *	<input type="radio"/> 無事 <input type="radio"/> 軽傷 <input type="radio"/> 重傷
現在の所在 *	<input type="radio"/> 大学届出現住所 <input type="radio"/> 大学 <input type="radio"/> 避難所等(コメント欄に名称、住所を入力)
現住所家屋の状況 *	<input type="radio"/> 使用可 <input type="radio"/> 使用不可 <input type="radio"/> 不明
登校(出勤)の可否 *	<input type="radio"/> 登校(出勤)可能 <input type="radio"/> 登校(出勤)不可 <input type="radio"/> 登校(出勤)中
コメント (全角512文字)	<input type="text"/>

登録 戻る

④回答確認画面に遷移しますので、確認後『送信』をクリックしてください。

安否確認/一斉通報サービスログアウト

安否情報登録

安否確認テストです。

氏名	初期 管理者
本人の安否	無事
現在の所在	大学届出現住所
現住所家屋の状況	使用可
登校(出勤)の可否	登校(出勤)可能

コメント

以上の内容で送信します。

(4) 家族サービスについて

安否確認システムに家族情報を登録しておくことで、災害時に家族間の安否を確認することができます。

【留意事項】

- 1、家族の個人情報を、大学は閲覧できません。
 - 2、家族の方には安否確認メールは送信されません。
 - 3、家族間の安否を大学が把握することはできません。
- 災害時に家族同士の掲示板として利用してください。

①家族情報の登録方法

ア 安否確認システムにログインします。

イ 個人メニューの家族情報メンテナンスをクリックします。



ウ 家族情報メンテナンスページの「家族の追加」ボタンをクリックします。



エ 家族情報登録画面で、家族の氏名、住所、連絡先、パスワードなど必要事項を入力します。

オ 必要事項を入力後、登録ボタンを押します。（『*』のある欄は必須入力事項です。）

NTT Communications 安否確認/一斉通報サービス MENU ログアウト

家族情報メンテナンス

「*」のついている項目は必須項目ですので、必ず入力して下さい。

家族コード *	<input type="text"/>
カナ氏名 *	<input type="text"/> (姓) <input type="text"/> (名)
氏名 *	<input type="text"/> (姓) <input type="text"/> (名)
住所 (半角文字、全角文字)	<input type="text"/> (都道府県) <input type="text"/> (市区町村) <input type="text"/> (番地・マンション名)
連絡先(MAIL)	<input type="text"/> <input type="text"/>
Web認証用パスワード (半角英数字)	<input type="password"/> (確認用)

カ 確認画面が表示されますので、内容を確認し、送信ボタンを押します。

NTT Communications 安否確認/一斉通報サービス MENU ログアウト

家族情報メンテナンス

家族コード	1
カナ氏名	ショキ カンロ
氏名	初期 管理子
住所	千葉県千葉市
連絡先(MAIL)	
Web認証用パスワード	

以上の内容で送信します。

②家族が安否登録する方法

ア パソコン・携帯電話から、以下の URL を入力し、ログインします。

安否確認システム URL : <http://www.mc-anpi.com/index.cgi?C=62983>

家族の方がログインするためには、**学生・教職員のログインID、家族コードが必須**になります。事前に家族の方に自身のログインIDと、家族の方の家族コードを伝えておいてください。

【企業コード】62983 (入力不要)

【ログインID】家族の方は学生・教職員のログインIDを入力します。

【家族コード】家族の方は必須入力。(学生・教職員がログインする場合は入力不要)

【パスワード】家族の方は登録時にパスワードを設定した場合のみ必須入力です。

ログイン

※ 企業コード、ログインID、パスワードを入力して下さい。
※ 家族の方は、家族コードを入力して下さい。

企業コード 62983

ログインID

家族コード

パスワード

ログイン

【スマートフォンをご利用の方はこちら』

イ メニュー画面で『家族状況確認』をクリックします。

個人メニュー

【▼災害情報はこちら』

家族状況確認

ログイン画面ブックマーク

ウ 『メッセージ編集』をクリックします。

NTT Communications 安否確認/一斉通報サービス MENU ログアウト

家族状況確認

▶登録状況 2014/02/13 18:31

氏名	本人の安否	現在の所在	現住所家屋の状況	登校(出勤)の可否	コメント	登録時間
初期 管理者	軽傷	大学届出現住所	使用不可	登校(出勤)不可	文字	2014/02/07 11:20

▶家族メッセージ

家族コード	氏名	メッセージ	登録時間
	初期 管理者	-	-
1	初期 管理子	-	-

メッセージ編集 戻る

エ 『メッセージ』欄にメッセージを入力後、『登録』をクリックします。

NTT Communications 安否確認/一斉通報サービス MENU ログアウト

家族状況確認

氏名	初期 管理子
メッセージ (全角512文字)	

登録 戻る

オ 登録するメッセージを確認後、『送信』をクリックします。

NTT Communications 安否確認/一斉通報サービス MENU ログアウト

家族状況確認

氏名	初期 管理子
メッセージ	無事です。

以上の内容で送信します。

送信 修正

④家族の安否確認方法

ア 安否確認システムにログインします。

イ 個人メニューの家族状況確認をクリックします。



ウ 家族の方が入力したメッセージを確認することができます。



8 初期消火活動の留意事項

(1) 目的

火災を早い時期に発見し、短時間で消火し被害を最小限度にとどめる。

(2) 初期消火の時機

消火器による初期消火活動の限界は「天井に火が移る前まで」を目安とする。また、屋内消火栓による初期消火活動の限界は、自衛消防隊員の安全を考慮し「火勢が強く消火効果が乏しい又は避難の時機を失すおそれがある」と判断するまでを目安とする。

(3) 初期消火要領

- ①火災の直近にいる者は、付近に設置してある消火器により消火活動を行う。消火器は、火元近くにできるだけ多く集め、連続して使用する。
- ②消火器により消火困難と判断した場合は、早急に屋内消火栓による消火活動に移行する。まず、消火栓の起動ボタンを押し、ホースを火点に延長してから開閉バルブの操作を行う。
- ③消火は、有効射程距離を考えて、姿勢を低くして、安全範囲内でできるだけ火元に近づき、煙に惑わされないよう燃焼物体に直接放射、放水する。

(4) 初期消火活動時の留意事項

- ①消火活動を行う際には、必ず退路を確保しておくこと。
- ②粉末消火器による消火の場合は、いったん火が消えたように見えても再燃する危険があるので、消火器使用後は水をかけて完全に消火する。
- ③出火階以外の階層では、通気口や階段などから煙が噴出するので、必ず火点を確認して注水する。
- ④屋内消火栓による放水は、過剰な放水による水損に留意するとともに、避難時機を失さないように注意すること。

消火器及び屋内消火栓の使い方は、別紙「消火訓練マニュアル」（総務省消防庁作成）を参照ください。なお、本学に設置している屋内消火栓は、2号消火栓です。

1 小規模ビル避難等訓練マニュアル 消火訓練

●初期消火の目的=火災を早期発見し、被害を最小限にとどめること

1 火災発生



電話が長引いているうちに、油鍋に火が入りました!

2 初期消火判断



天井まで火は届いていません。まだ消すことができます。

「火事だ! 火事だ!」と叫びながら、周囲に火災を知らせます。

3 消火器の準備



慌てずに消火器を準備します



火元に向けて消火剤を放出します。火が消えたら、ガスの元栓を閉めます。

* 消火後、天ぷら鍋の温度が完全に下がったことを確認してください。

4 消火活動



●よくある失敗例 (油鍋に水)



油鍋に向かって水をかけると、炎が飛び散ってしまい大変危険です。

1 小規模ビル避難等訓練マニュアル 消火訓練

●屋内消火栓の操作訓練

屋内消火栓には2つのタイプがあり、それぞれ操作要領が違います。

1 1号消火栓

1号消火栓は、ホースが折りたたまれて消火栓ボックスに収納されているため、ホースを延長した後でないと水をホース内に流すことができません。このため、ホースを火元付近まで延長し放水すると消火栓のバルブを開放する人の、最低でも2人の操作員が必要となります。

①消火栓ポンプ起動



②ホース延長



③バルブ開放・放水

出火箇所に接近した操作員の放水準備ができた後「放水はじめ！」の合図で、消火栓のバルブを開放し放水します。



2 2号消火栓・易操作性1号消火栓

2号消火栓・易操作性1号消火栓は、ホースがドラムに収納されているため、収納状態でもホース内に水を流すことができます。このため、一人で操作することができます。

①バルブ開放

バルブを開放すると消火栓ポンプが起動します。



②ホース延長



③放水

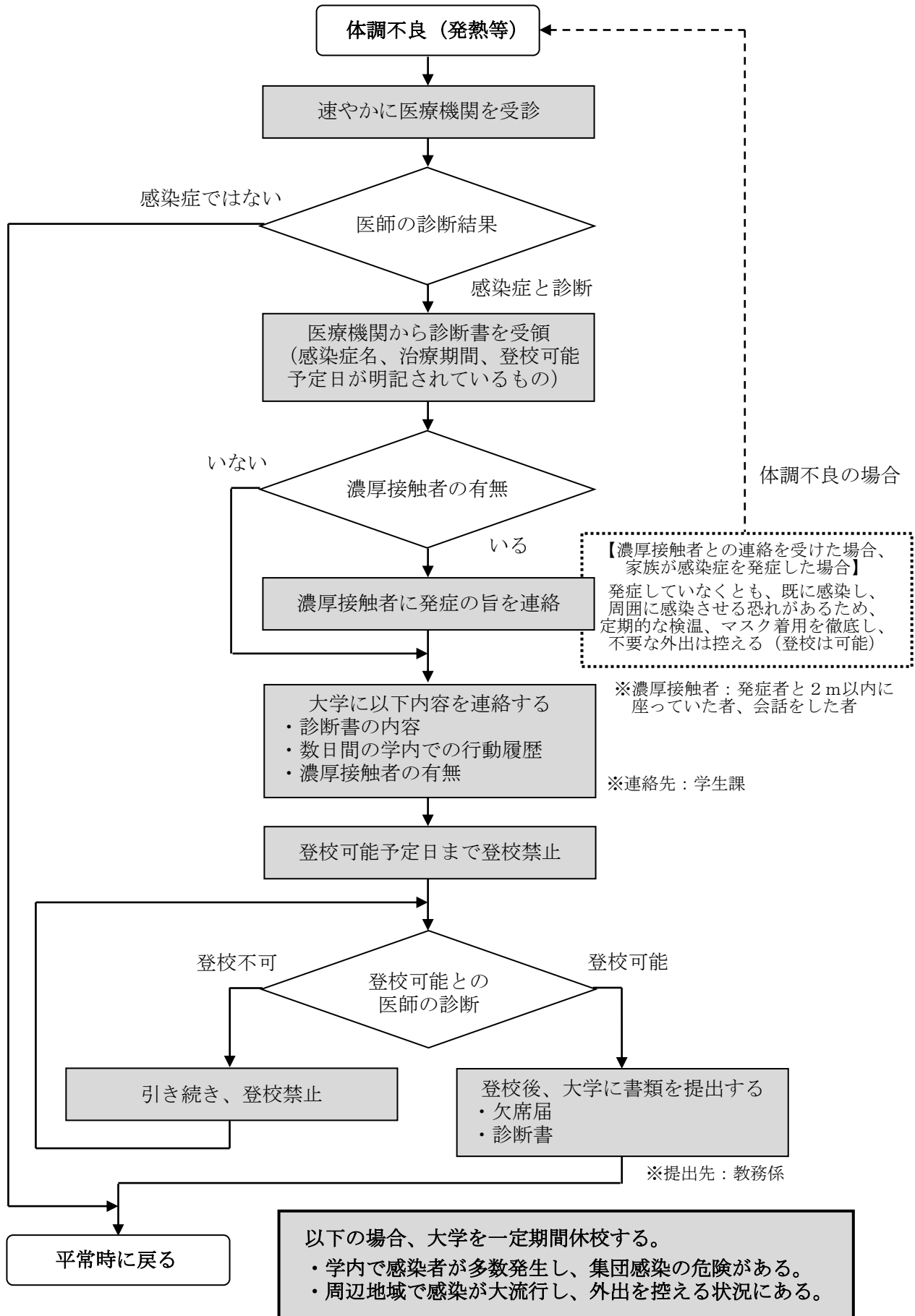
ホースノズルのコックを開き放水します。



- 注意**
1. 訓練中は安全を管理する担当者を設けましょう。
 2. ホースを延長するとき障害となる物がないか確認しましょう。
 3. 放水する時はノズルから絶対に手をはなさないようにしましょう。
 4. 火災の時、いきなりドアを開けると空気（酸素）が流れ込み一気に火勢が強まる場合がありますので、まずドアを少し開いて、様子を見てからドアを開けましょう。

9 感染症発症時対応手順【学生用】（教職員は学生に準ずる）

- ・学校保健安全法により、学校において予防すべき感染症の種類が定められ、感染拡大を防止することが義務づけられています。（身近な病気：インフルエンザ、ノロウイルス）
- ・自身が体調不良の場合、家族・友人等身近な人が発症した場合は、以下の手順を厳守し、感染拡大の防止に協力願います。



【学校において予防すべき感染症（学校保健安全法）】

種別	病名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、鳥インフルエンザ（H5N1型）、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症および新感染症
第2種	インフルエンザ（H5N1型を除く）、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふく風邪）、風疹（三日ばしか）、水痘（水疱瘡）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の伝染性疾患（ノロウイルスなど）

【平常時の準備】

1. 自宅に体温計、マスクを備える。
2. 自宅付近の医療機関の場所、診療時間を把握する。
3. 健康保険証又は遠隔地証明書を準備する。
4. 感染拡大の防止を常に意識し、行動する。

【集団活動（サークル・部活動等）における留意点】

- ・ 責任者は、集団内に体調不良の者、感染症に発症し休んでいる者がいないかを把握する。
- ・ 集団内で感染症の発症者が出た場合は、速やかに責任者が学生課に報告し、学生課の指示を受ける。
- ・ 合宿や旅行に行く場合は、以下を徹底する。
 - ① 責任者、副責任者を決めておく。
 - ② 体温計、マスクを持参する。
 - ③ 合宿・旅行前に体調不良や発熱（37.5℃以上）がある場合は参加しない。
 - ④ 合宿・旅行中は毎日検温する。
 - ⑤ 健康保険証又はコピーを持参する。
 - ⑥ 体調不良や発熱を感じた場合は、速やかに近くの医療機関を受診する。
 - ⑦ 感染症と診断された場合は、医師の診断に従う。
 - ⑧ 集団感染が疑われる場合は、現地の医療機関及び保健所の指示に従う。

10 教育研究における海外渡航時対応手順【学生用】（教職員は学生に準ずる）

- ・海外では、様々なリスクが潜んでいます。インターンシップ等で海外に渡航する際は、皆さん自身を危険から守るために、以下の手順を厳守してください。
- ・渡航先情報は「外務省 海外安全ホームページ<<http://www.anzen.mofa.go.jp>>」を参照する。

